

平成26年勝浦町マラソン議会（ひな会議）会議録第4号

1 招集年月日 平成26年3月7日

1 招集場所 勝浦町議会議場

1 開閉日時及び宣告

開議 3月7日 午前9時30分 議長 大西一司

散会 3月7日 午前11時50分 議長 大西一司

1 出席及び欠席議員

○出席議員（10名）

1番	美馬友子	2番	麻植秀樹
3番	河野道雄	4番	籾公一
5番	国清一治	6番	森本守
7番	山野忠男	8番	井出美智子
9番	大西一司	10番	川端雅夫

○欠席議員（0名）

1 地方自治法第121条第1項により説明のために出席した者の職及び氏名

町長	中田丑五郎	副町長	小林功
企画総務課長	伊丹眞悟	産業交流課長	野上武典
教育委員会事務局長	坪井泰博	農業委員会事務局長	豊岡和久
給食センター所長		会計管理者	
		出納室長	

1 職務のため出席した者の職氏名

事務局長 前田晃司

1 議事日程

日程第1 開議宣告

日程第2 議案第20号 平成26年度勝浦町一般会計予算について

日程第3 議案第28号 平成26年度勝浦町物産販売特別会計予算について

1 本日の会議に付した事件

日程第1から日程第3まで

1 会議の経過

別紙のとおり

~~~~~

午前9時30分 開議

○議長（大西一司君） それでは、皆さんおはようございます。

本日の議事日程は、お手元へ配付のとおりでございます。

~~~~~

○議長（大西一司君） 日程第2から日程第3までを一括して議題とします。

きのうに引き続いて、第一読会を開きます。

議事日程の都合により休憩します。

午前9時30分 休憩

午前9時35分 再開

○議長（大西一司君） それでは、再開します。

これより議案第28号についての総括質疑をしたいと思います。

質問のある方は、ボタンを押してお願いします。

どうぞ。

ちょっと、あっさりしとる資料じゃけんど。

4番節議員。

○4番（節 公一君） また、2点お尋ねしますが、今課長から説明あった、当然情報がアンテナショップとしての位置づけ、これ仕入れ品と開発品があると思うんですが、現状どうですか。いろいろ広報にも出とって、町内業者の生産品を置くということ、その役割は十分果たして、言うたら伸びていきますか、そっちのほうが。

○産業交流課長（野上武典君） もし、寄っていただけていたらおわかりになるうかと思うんですが、事業所だけでなく、個人の方からも販売できるものをということで、品数は着実に増加いたしておりますし、販売手数料のほうも徐々にですが収入もふえております。ただ、当初からなるべく販売しやすいようにということで、手数料について町内業者の食品等については15%と、長く置けるような小物品等については20%ということになっておりますが、そういったことで大きくはないんですが、アンテナショップとしての役割というのは、徐々に充実しているということでございます。

○4番（節 公一君） ていうのは、先ほどの補正予算でかなり減額しましたですね。376万5,000円ですか。ということは、なかなかこの目標に対して実際は売り上げ

が厳しいと。多分、今年度もこれだけの売り上げが確保できるんかという質問が出りゃ、それを目標に頑張りますという答えが出てくるとは思うんですが、それ以上のことはないと思うんですが、やはり内容、アンテナショップとしての役割は十分果たしてもらえるような形で、マンネリ化にならんようにね。ちょうど、3年経過ということで、新しい考え方も取り入れてもらいたいなと思うんですが。

それともう一点、これはちょっと小さなことなんですが、歳出のほうで消費税。先ほど言われた、去年度は必要なかったという話でしたが、これ売上金額去年と同じなんですが、消費税額も同じですね。これ5%から8%に上がりますね。

(「上がりますね」の声あり)

これは、どんなんですか。多分、こんだけこの中でできるという範囲なんですか。それとも、売り上げがこんだけまでいかん、いやらしい言い方かもわからんけど。本来なら、これ8%上がる分は上げないかんの違うんですか。

○産業交流課長(野上武典君) 実際、消費税はいわゆる収入として、各商品につきまして、まず先におっしゃっていただいた減額した予算なんですが、これ自分とこの独自開発、アンテナショップの部分で販売手数料をいただく分じゃなくて、自分くの独自開発の分と、あといわゆるレール商品といいまして、徳島県内でスタチを使ったお菓子とか、徳島へ来たらこんなお菓子が土産で買えるだろうというようなものを置いております。その分についての商品の売上額と仕入れ額の減額ということで、補正予算で上げさせていただいて……。

○4番(籾 公一君) 要は8%で置き直してした措置ということで、解釈でええんですか。もうそれだけの話なんですよ、簡単に言えば。それで、試算してこんなけの数字だったら、それでも問題ないんですがね。

○産業交流課長(野上武典君) そうですね。今、5%にあって、8%で今度消費税をいただきますので、そのあたりは調整はつくというふうに考えております。

○4番(籾 公一君) まあ、ほなけんそれで、8%を前提にした数字ということで問題はないわけやね。

(「はい」の声あり)

以上です。

○議長(大西一司君) 5番国清議員。

○5番（国清一治君） 今の答弁も、ちょっとおかしいと思うんやけど、これ歳入歳出見ても全く将来性がない。前年度並みやね、まあ言うたら。歳出が、100万円ふえとんが、これ一般会計繰出金で出るんかどうか、私も心配するんですけども、私が見る限りは、消費税はもちろん将来性を感じん予算と思うんです。よってネと違うんだらうけど、私はよってネみたいにどんどん売上額がふえていくような道の駅になってほしい。私も、ほとんど県外行くときには、あつこで買い物してます。そういうことで、皆がいろいろな協力もしとる人もいっぱいおると思うんやけど、この予算見る限りは、もうこれ前年並みやね、完全な。消費税の分どうこうと言うんだったら、これ売り上げ自体は減とるちゅうことなんとちゃいますか。これ予算つくるとき、全く前年並みっていうんでええでしょう。何も変化ない、これ将来性がないと。ほんで、今消費税のこと言いよったけど、8%がまた今度10%もなるけん、売り上げ自体は伸びるでしょう、その分だけ。額は、ようけ出てくると思う。そのままで、見とるちゅうんやったら、売り上げ自体はもっと下がってきとるっていう解釈でええんちゃうんかいな。

○産業交流課長（野上武典君） 実際の売り上げにつきましては、昨日お配りした別添資料のほうの一番最終の資料として、今までの23年度からの売り上げをグラフにしたものと、上段のほうには表にしたものを添付させていただいております。議員おっしゃるように、ごらんになっていただければ2月、3月の売り上げ、まだこれからなんですけど、大きくなっておりまして、おおよそ23年度、24年度という1,300万円から1,400万円近くということの売り上げになっております。こういったことで、推移するんじゃないかということで、昨年度並みの予算を組んでいけばいけるんじゃないかというふうに考えて、今回の予算、当初予算ということになりました。8%になるということで、同じように売れば、あるいは新しい商品も開発していけば大きくなるとは、そういった目標で進めたいとは思っておりますが、現状あるは今までの経過から見ますと、当初予算の枠内で事業は執行していけるんじゃないかというふうに思っております。

それから、各年度ともご存じのように人件費等の経費が、この物産会計には含まれておりません。それで、毎年おおよそ粗利益でございますが、200万円程度の物産販売に係る会計の中では、利益が出てきているということでございます。今回、100万

円一般会計にお返しさせていただくという予算を計上させていただきました。

○5番（国清一治君） そうしたら、補正のところで私言うたと思うんやけど、この管理を民間とか指定管理をやるっていうようなことで、ほいたらその場合この会計はどないなるん。早かったら、26年度半ばでも委託できたらちゅうような課長の発言があったと思うんやけど、この会計自体はどないなるん。

○産業交流課長（野上武典君） もちろん、指定管理に出す上で受け方としましたら、今考えているのは一応26年度の今ごろということで応募をかけるというふうに考えておりますが、もちろんこの物産会計あたりの営業のあたりが当初はメリットと、受ける事業者にとっては何か利益を生み出す一番の大きなところと思われまので、これももちろん指定管理に出していくということになろうかと思えます。

そこで、アンテナショップ的な役割を十分担っていただけるような事業者からの提案ということを重視していきたいというふうには考えております。

以上でございます。

○5番（国清一治君） ほなけん、今のところは、今ちょっと言うたんは、ことしの今ごろって言うたんやな。今ごろに、指定管理の公募をしたいっていう話やな。この前言いよったんは、半ばでも早いうちにつちゅうように言うたように思う。それは、ええと。僕は、半ばでも無理やと思うてますので、例えばこれNPO法人とか設立する考えは、検討課題には入ってないんですか。

○産業交流課長（野上武典君） 今現在は、育成というところまでは検討はいたしておりませんが、今後運営協議会等にも諮りながら、そういったことも考えて進めていきたいとは思います。

○5番（国清一治君） 何かっていうたら運営協議会が出てくるんやけど、やっぱり町が一つの案を持つとらなんたら、運営委員会の委員さん皆がここのことで、これはこうしなければいけないっていうようなんは、出てくるんは少ないように思うんよな。やっぱり、町がこうやる、こういう方向でやりたいけん運営委員さんどうでしょうかっていう、一応案とかというんを持つとらないかんと思うんよ。運営委員会の皆寄せて、どないしようかって、町の方針がなかったらまず決まらんと思うんで、それはもう早目に持って、ここまでおくれてきとんやけん、もう26年度中にはきちつとしまいしてください。要望で終わります。

○議長（大西一司君） 10番川端議員。

○10番（川端雅夫君） 今の関連なんですけど、人件費が今協力隊が国のほうからしてくれる。それと、県のほうから210万円かな。トイレの掃除とか。あれに携わる全ての人の人件費は幾らになるん。

○産業交流課長（野上武典君） 昨日、お渡ししました、今一つ前の資料に道の駅の運営事業に係る収支予算ということで一覧表を添付させていただきましたが……

（10番川端雅夫君「720万円が合うとんやな」の声あり）

そうですね。26年度予算では、750万円になっておるんですが、それと社会保険料等必要になってきますので……

（10番川端雅夫君「890万円な」の声あり）

はい。

○10番（川端雅夫君） ほいたら、今はやけど、道の駅があることによって、勝浦町の経済効果っちゅうんはどれくらいに見られとん。

○産業交流課長（野上武典君） あそこが、例えば道の駅として一体的に整備されたら。それに関連しまして、よってネ市が新しくなったということも一つ大きな要因とは思いますが、やっぱり集まるお客さんというのも相乗効果をもたらしているんじゃないかというふうに考えます。先ほど、道の駅の売り上げの一覧表も示しておりますが、1,400万円程度の売り上げがございます。そのうち、町外からいわゆる●

商品●みたいな商品の仕入れもあるんですが、1,000万円余りぐらいの道の駅自体の売り上げがあろうかと思えます。それから、大きなのがテナント部分の食堂等の入り込み客っていうのがかなりふえていて。それから、先ほど言いましたよってネ自体も間もなく4億円に達するかというようなところで、改築する前は1億8,000万円程度だったと思うんですが、その倍以上にふえていて。ビッグひな祭り、あるいは桜祭りと、いろんなイベントを催すことによって集客効果はふえているかと思うんですが、そういうことで相まって、経済効果としたら大きな効果をもたらしている施設になったんじゃないかかろうかとは思っています。

○10番（川端雅夫君） 金額的に、見積もれというたら無理かもわからんのやけどな。ただ、今国清議員が言うたように、今度NPOの委託する場合に、一般財源が1,300万円、1,400万円ぐらい出していく中で、ほんまに受け皿あるんかいなと思う。

私も、今危惧しとるような状態なんです。ということは、ある程度受けた人のもうけちゅう利益も考えていかなんだら、一般財源1,400万円も入れて、それで人件費も今度全てそこが払うようになってきたら、なかなかこれ受け手ないと思うんじゃないかな。町長どうで。どう考えますか。

○町長（中田丑五郎君） いろいろ検討、はっきりは3年とは言うたらんのですけども、3年をめどに何らかの結論を出していきたいというようなことで、種々検討をしようとすけども、議員ご指摘のような課題としては大きくやっばり残っております。そうしたことが、いまだ結論に至ってない大きな要因の一つだと思っております。経営ということでございますので、受け手と町費を余りどんどん入れてくわけにもいきませんので、そうした中でいかに効果を上げていくかというようなことで、苦心を担当者しております。

○10番（川端雅夫君） 確かに、よってネ市の売り上げが最初1億8,000万円ぐらい、今3億円何ぼあるわね。それも新しくしたけんかもわからんし、道の駅ちゅう食堂もあり、いろいろ相乗効果を生んどると思うんじゃないけど、実際にこれ以上町費をこの施設にかかっていくのも余りいい方向、建物建てたらやっばり管理費が要るちゅうことは最初からわかつとんやけん、これ以上ふやさんがために努力してもらわないかんし、もし委託をするんだったら委託しよいような環境づくりをやっばりしてほしいなど。これは、要望しておきます。

以上です。

○議長（大西一司君） それと、ちょっと課長。今の関連ちゅうか1,400万円、交付税措置、これ質問誰かしたんかいな。だんだんと減つとんは、いつか消滅するんですか、これ。交付税措置。

○産業交流課長（野上武典君） この交付税措置として記載いたしているのは、特別交付税で地域おこし協力隊の任期3年間、協力隊として活動するのに係る経費でございます。昨日も質問があったんですが、もし道の駅の運営につきまして、今の協力隊員のうち1名がまた新しくなれば、今ここに400万円としておりますが、これ800万円になります。ただ、今後道の駅が指定管理等で民間の事業者になって、条件づけで何年か協力隊員がそこに張りつくというようなことも可能かとは思いますが、いずれは特別交付税措置はないものというふうに考えておいたほうがいいんじゃないかとは

思います。

○議長（大西一司君） はい、わかりました。

ほかに。

ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（大西一司君） それでは、ないようでございますので、質疑を打ち切りま
す。

小休します。

午前9時56分 休憩

午前10時22分 再開

○議長（大西一司君） それでは、再開をします。

当初予算，教育委員会のほうの説明終わりましたが，この件についてご質問がある
方はご発言をお願いします。

10番川端議員。

○10番（川端雅夫君） このコンサート，何年か前にあれもキャンセルなったわ
な。また，今度も11月16，これはもう日決定しとんやな。場所は，まだわからんの。

○教育委員会事務局長（坪井泰博君） 今のところ，中学校か生比奈小学校の体育
館，どちらかに，県との相談もあるんですけども，になると思います。

○10番（川端雅夫君） ほいたら，40万8,000円の1人あたりは何ぼのチケット。

○教育委員会事務局長（坪井泰博君） 小・中，学生さんですね。小・中・高生と一
般っていうふうに分けてあります。ほんで，前売りと当日売りっていうのもありま
す。だけん，学生さんは前売りが1,000円，当日売りが1,500円。一般は，前売りが
1,500円，当日が2,000円っていうような予定でおります。

○10番（川端雅夫君） 高いの。それはそれとして，たまたもし何かがあった場合，
また全部お金取られるだけかい。

○教育委員会事務局長（坪井泰博君） この計画をいたしましたときに，その3年前
の痛い教訓がありまして，もう台風が来るときは外そうと，そういうような話で11月
という日を決定しました。それと，先ほど申しましたように，他町，美馬市と那賀町
もでございますので，そこも一緒に楽団がばばっと演奏してしまいますので，事業を行

いますので、11月15日、16日あたりで事業をこなしてしまうという計画です。

○10番（川端雅夫君） 2日で3町するん。

○教育委員会事務局長（坪井泰博君） 一応、そういう予定です。今の計画ですと、15日が美馬市、16日がお昼に那賀町をして、夕方もしくは夜といたしますか、5時か6時ごろに勝浦町という計画でおります。

○10番（川端雅夫君） これ、ほいたらこんなんはクラシックな。私やわからんのやけど、日に日に家ではかけとんじゃけど。

○教育委員会事務局長（坪井泰博君） 実施計画につきましては、ちょっとこの予算承認いただいてから、県のほうの窓口が文化振興財団っていうのがおるんですけども、そこの担当者の方と協議をしながら進めていきたいと。けど、プロの演奏者はクラシックの弾く人が主ですので、多分クラシックが主になるのかなと思います。

○10番（川端雅夫君） この合唱指導とかピアノ伴奏とか、指導者に対してのお礼やいっとるわな。これは、小・中学校の生徒も出演するっちゃうこと。

○教育委員会事務局長（坪井泰博君） そういうような予定ではおります。出演してもらおうという予定でおります。

○10番（川端雅夫君） できたら166万円は持っていなれんようにしてください。

以上です。

○議長（大西一司君） 1番美馬議員。

○1番（美馬友子君） 予算の中にはないんですが、この間人権コンサートですばらしいピアノと来ていただいて、そのときに小さいときから本物を見せるってすごい大事なことなのに、子供は1人か2人だったですよ。やっぱり、そんなときに小学校とか中学校に声をかけてほしかったなって。人権のお話も優しいお話だったんで、機会を逃して残念だったなって思うんで、またそういう配慮もお願いしたいなと思っています。

○教育委員会事務局長（坪井泰博君） おっしゃるように、今回につきましてはいろんな教育委員会の行事、イベント、主催する行事につきましても、各小・中学校のほうには案内等今までしていたんですけども、以上に周知を図っていきたいと考えております。

以上です。

○1番（美馬友子君） それともう一つ、町長が前向きに町民体育祭って言いよったん、予算見てもどこ探してもないなっていうとこなんで、せめて実行委員会を開くとか、そういう計画はないんですか。

○教育委員会事務局長（坪井泰博君） 一応、各団体の代表者と協議を行いまして、意見をお聞きしたいと考えております。なぜかと申しますと、経過を申しますと、以前の町民祭は休止をしましてから7年が経過をしております。ですので、実施方法であるとか、手段や手順が引き継がれていないといえますか、途絶えてしまっているように思うんです。ほんで、当時お手伝いをしていただいております団体の方につきましても、そういうやり方などが途絶えていると思います。ですので、以前のような町民祭になるんか、それとも新しい町民祭にするんか、それぞれの内容なども含めまして意見集約というか、意向調査っていいですか、そういうご意見をお伺いしたいなというふうに考えてます。

ほんで、私的には行政が主催していくっていうことは、これもうマンパワー的にちょっと無理があるんじゃないかと。民間主導で行ってもらえたらと考えております。そういった意味で、主催者として活動してもらおう団体であるとか、スタッフとしてお手伝いしてもらおう団体、また参加者を募る団体、さまざまな役目をいろいろな役目を担ってもらおう団体が必要になってくると思いますので、その辺ご意見、まずはご意見とか、その辺お伺いしたいなというふうに思っております。

以上です。

○1番（美馬友子君） 実際に、どんなメンバーとか決めとんですか。

○教育委員会事務局長（坪井泰博君） 具体的な団体、正味、K-F r i e n d sさんとか、婦人会さんとか、青年会とか、消防団とか、もちろん区長会であるとか、いろいろな団体の方にもう一度その辺投げかけて、それでご意見をお伺いしたいなと思っております。多分、いろんな意見がいただけるんじゃないかなとは、出てくるんじゃないかなとは思いますが。

○1番（美馬友子君） こんなときこそ、パブリックコメントなんか使ったらどうなんでしょうかね。

○教育委員会事務局長（坪井泰博君） 済いません、そこまではちょっと考えてなかったんですけど、まず私的には人と人との膝を突き合わせて、顔色をお伺いしながら

ら、ご意見をお伺いするんがええんかなという考えでもおりましたので、そういった考えです。

以上です。

○1番（美馬友子君） してほしいなっていう声は、この人たちの中からではないんですけどね。その人たちの意見は、どこで吸い上げるんかなあって。

○教育委員会事務局長（坪井泰博君） 今の私の考えでは、まずそういうかかわってもらえる人、体制づくりっていうんですかね。その辺のあたりを考えた、今答弁でおりました。ですから、その辺の参加者っていうんですかね。その辺のところにつきましては、内間のほうが固まってきてからっていうか、内容等につきましての話も出てくるんかなとは思いますがけれども。

○1番（美馬友子君） 町長に聞きます。これって、誰のために、何のためにするんかっていう。一応、交流はしようかっていうのに、町民の交流の企画って、この予算の中にあつたですか。

○教育委員会事務局長（坪井泰博君） 今回、この町民祭の予算につきましては、まずそういう話し合いの場を持つということですので、資料作成とか、お茶代であるとか、その辺の予算計上はしております。ほなけん、もう実際に具体的に町民祭を行う事業費っていうんですかね、そういったものはまだ何をするか決定してませんので、計上はしてありません。

○1番（美馬友子君） そういう意味でなくて、この26年度の予算の中に、町民同士の交流を持つっていう予算が見えなかったんですけどね。各課説明してもらった中に。

○議長（大西一司君） 今の1番議員が言いよんのは、恐らく我々10人の議員も共通した認識で、町民祭というのは地域コミュニティーの原点であつたり、これがひいては町の活性化につながると強く皆さん思って、何回も町長に質問もし、町長はそれに対して前向きな発言もなさっております。ほんなんで、何ちゅうかできる方向で、やっぱり検討するっていう方向を持ってもらわんと、いろいろ検討の結果どうにもならんわっていうんでは困ると、我々議会はそう認識するはずです。ちょっと、僭越した私の意見かもわからんのやけん。その点、ちょっと町長。町民祭に対する町長の考え方を。

○町長（中田丑五郎君） 町民祭は、議会からの、議員からの質問もありまして、いろいろ前向きというような答弁してます。ほんで、このたびの当初予算の中にどのような形で盛り込んでいくかというようなことで、いろいろ担当課とも町長発信をしたところでございます。

先ほど、担当の局長から申しあげましたように、やはり歴史あるものであったもので、町民祭という形でやっておりましたけども、本当に皆さんが望んでいるのはどういう姿なんかなという、昔ながらのいろいろその地区地区でいろんなお酒を出したり、こうやりながら和気あいあいとやるのも、それも一つのやり方もありますけども、最近特に学校の中ではそういったことも、全くたばこも吸えないような状況になっておりますので、そうしたことでリニューアルしていかんだらいかんのでないかというようなことで、K-F r i e n d sによるファミリースポーツという形で、ちょっと所を変えて新たなやり方でやっていこうというようなことで始めたんですけども、なかなか議員さん初め、全ての町民とは言いませんけども、昔の開放的なああいいう形もいいんでないかという声に、私もそれでは町民祭について広くいろんな人から聞いて、やはり長く続けるためにも町が主体でなしに、やはりK-F r i e n d sなりそういう民間の人の活力を利用したことによって、さらに盛り上がっていくんでないかというようなことも検討しなさいというようなことで、今回。

私としては、はっきり言うて形ある予算は立てたかったんですけども、なかなかその積み上げが、根拠になるもの、出したら必ず根拠は何ですかという話が出ますので、それなりの根拠を持った予算でなかったらということで、今回基礎編的な資料的なもんを考えながら進めていきたいということでございます。

それと、ことし開催できるかどうかというのは、時間的にどうかなっていうところもあるんです。それと、1番議員さん、ことしですかね。ラジオ体操のときにちょっと言うた、ちょうど勝浦町60年という節目の年が来年当たりますので、私もその予算のときにちょっと担当課とも話したんですけど、そんなんの記念イベント的にやったらどうかという、そんなことも話し合いながら、いろいろいい方向で検討していきたいということで、決して私自身は後ろ向きで考えておりませんので、何か形変わっても町民が親睦を図れるようなものができればという考え方を進めていきたいと思っております。

以上でございます。

○議長（大西一司君） ほんで、ええんでないですか。前向きな答弁だったと思います。

6番森本さん。

○6番（森本 守君） 中学校改築できまして、よくなったんですけども、運動場を一応整地されてしとったんですけども、やはり地盤沈下があるところがあったりして、後の維持補修がちょっとみんなで水たまりやをないようにしていきよんやけど、土が最近入れてくれとるですか。ちょっと、最近見とらんもんじゃけん、入れてくれとんやったらええけんど、予備の土が欲しいんで、入れてくれとんだったらよろしいですけど、了解です。

○議長（大西一司君） 補足、関連ですが、正月の消防の出初め、あんなええ天気になんた。グラウンド状態が悪うて。この前も、実は先週日曜日も、土曜日に雨が降とったんやけんど、還暦野球の練習に行とったんやけんど、それもグラウンドに見てみたら水たまりが残っている。以前に比べたら、非常に排水状態がよろしくないって言うようなことなんやけんど、それは是正されとんですか。今の質問。

はい、どうぞ。

○教育委員会事務局長（坪井泰博君） 中学校の改築時のあたりから、ちょっと経過を申し上げますと、中学校の改築のときには大規模なグラウンド整備っていうのは、抜本的なグラウンド整備っていうのは考えておりませんでした。ですので、しませんでした。ほんで、改築工事に伴いまして工事車両がグラウンド内を通過、多くの工事車両が通過をしておりましたので、完成後にグラウンドには新たに約5センチから10センチぐらいの厚さで真砂土っていうんですかね、グラウンドへ土を入れております。ほんで、まだ土が固まっていないといいますか、そういった理由もあるのかなとは思うんですけども、ご指摘いただきましたように、部分的には水はけの悪いところがございます。今後は、水はけの悪いところを土を足すなどいたしまして、グラウンドが落ちつくまでちょっと様子を見てみたいなという考えではおります。ですから、特に多分森本議員おっしゃられよるのは、● ●の練習されてるときに第3コウのあたり、あの辺がちょっと水はけはつきり言うてよろしくないかなと思います。ほんで、会長さんのほうからも依頼がございまして、土を何台か入れた経過がご

ざいます。もし、まだ水がたまる、調子悪いわというんでしたら、またおっしゃっていただきましたら、予算の範囲内にはなるんですが、土を入れたいなどは思っております。

以上です。

○6番（森本 守君） 予備の土が欲しいんで、ちょっと言うただけでね。やはり、運動場ずっと盛りしていかなんだら、あっちが水たまり、こっちが水たまりして、なかなか機嫌とれんのやな。2台ぐらい、常時予備の土が欲しいと思ひまして、そんなことです。小さいことで済んまへん。

○議長（大西一司君） ほかに。

4番 議員。

○4番（籾 公一君） 2点、お伺いしますが、まず予算書の89ページの賃金のところなんですが、臨時雇い賃金695万6,000円、これちょっと内容教えてくれませんか。用務員さんと何と思うんですが。

○教育委員会事務局長（坪井泰博君） 申し上げます。

学校用務員さん3人、1日当たり5,800円で計算をしております。1年度間分で、438万4,800円。それと、もう一人が自立支援の学力向上員ですね。1日当たり1万200円で、1年間257万400円。

以上でございます。

○4番（籾 公一君） はい、わかりました。内容わかりました。

それと2点目は、先ほどの川端議員のちょっと関連するんですが、コンサートなんですが、このチケット収入っていうのは、これは前回と一緒に入場料を取らないかんっていうことなんですかね。本来なら、子供は無料にしてあげたら、前もそんな話があったと思うんですが、そういうこと。その条件は変わらんのですか。

○教育委員会事務局長（坪井泰博君） 実は、いろんな特定財源を申し上げたんですが、の一つで、地域創造助成事業っていうところに500万円おるんですけども、これの助成を受けようとするれば、そういう入場料収入を取らなければならないというふうになっております。そういう関係もでございます。

○4番（籾 公一君） じゃあ、前回と条件同じということですね。本来なら、子供の分ぐらいは、金額的に。入場料が40万8,000円で予算計上されとんは、人数的に言

うたら300人ぐらいになるんですかね。これちょっとさっきの計算から逆算して、単純に見てみますとですよ。1,500円と1,000円でぱっと割ってみたら。

○教育委員会事務局長（坪井泰博君） そうですね。

○4番（籙 公一君） 子供が150人、何が150人ぐらいで、大体300人ぐらいですか。

○教育委員会事務局長（坪井泰博君） 294席分で40万8,000円にしております。

○4番（籙 公一君） そのぐらいやから、子供の分ぐらいはできたら無料にということと思うんですが、条件的にそういうことですか。入場料を取らなければいけないというようなことなんですか。ほな、わかりました。

ほいで、これはどのぐらいの何が来るんですか。また、規模は同じぐらいですか、前回と。

○教育委員会事務局長（坪井泰博君） 徳島県のほうで、とくしま記念オーケストラっていう団体、そこで約50人の演奏者の方がおいでるようです。それと、指揮者が秋山和慶さんとおっしゃる方でございます。そういう方たちの出演ということでございます。

○4番（籙 公一君） 内容的には、前回と余り変わらんということですかね。この合唱指導っていうのは、子供たちとか町内のこういう合唱グループがありますわね。そういうんに、先生に対する指導料とかというような形で。

○教育委員会事務局長（坪井泰博君） 今現在は、現在といいますか、実はこの500万円の地域創造助成事業というのは内定をいただいております。ですから、これの申請するに当たって、前回並みの事業計画で申請をいたしております。ですから、実施計画につきましては、26年度に入りまして詳細なところ、この県の窓口となります文化振興財団のほうと協議しながら詰めていく話にはなります。ですから、今のところは前回並みの内容で計画というか、計上はしております。

以上です。

○4番（籙 公一君） わかりました。

これから具体的なこと、内容になってくるんで、その中でまた一般質問なりが出てくるかもわかりませんので、とりあえず今回はちょっとそれで置きます。

○議長（大西一司君） ほかにございますか。

3 番河野議員。

○3 番（河野道雄君） 今の同じページの特別職の給料についてお伺いしますが、これも毎年5%ずつ減額をしてきたような経緯があるんですが、この給料ってこの特別職についての妥当な給料なのか、それともそれにふさわしくないから減額をしてきているのか、その点お伺いします。

○教育委員会事務局長（坪井泰博君） ちょっと済いません、教育委員会的には、これ特別職の給料の指示っていうのは、総務のほうから回ってきます給与関係の資料に基づきまして予算計上いたしております。ですから……。

○町長（中田丑五郎君） 条例改正の中で、議案第11号につきまして教育長の給与を5%減ずると、私ども副町長と含めても10%か5%ということなんですけども、この件については本俸が云々よりも、やはり行財政改革非常に厳しい財政難の中でやっておりまして、今回緩和はしております。平成22年からの4年間、私の例で言いますと15%、その前20%だったんで15%というようなことで、だんだんと財政状況もよくなってるから緩和をしているということでございます。だけん、本俸云々でなしに、削減っていいですか、減額を徐々に緩和しながら進めているわけで、教育長なり私の給料が適正かどうかということについての議論は余りしたことはないです。というのは、これも各町村によって本俸違いますので、給料は。わかりますか。町長によっても、町によっては全然高いところもありますし、低いところも若干ありますしということでございます。この答えで、答えになってますかね。

○3 番（河野道雄君） 緩和していくっていうのは、やっぱりその人に対してその給料が適当、適当な数字だったら緩和せられたら職についとる人は迷惑するわけですね。

○町長（中田丑五郎君） 上がる、財政状況がよくなってますと。

○3 番（河野道雄君） 財政状況によって上げ下げするんですか。

○町長（中田丑五郎君） いや、ほなけん行財政改革で、会社でも何でもやけど、やっぱり会社の景気が悪くなったら給与カットしていくでしょう、やっぱり。会社としてはですよ。まず、人件費から削減するっていうのが常套的な手段でございますので、過去にも16年、17年ぐらいから職員の給与も5%カットして、議員さんも協力してもらって、私どもも一緒にした経緯もあります。それが、だんだんいろんな歳出削

減もし、有効な事業活用もし、行革の効果も出て、そんな効果によって財政状況がよくなったというようなことで緩和措置を講じたというのが、今回の削減した要員でございます。

○3番（河野道雄君） 今後の見通しはどんなんですか。

○町長（中田丑五郎君） これは、私の私見的な考え方かも知れませんが、この辺が限度かなあという、10%ぐらいがね。ただ言えることは、今後の行財政改革、本町の財政の状況においては、財政が今以上に悪くなってくると私の削減も多くなるし、また議員さん初め職員皆一丸となって協力してもらうこともあるかも知れません。そうならないように、私どもも財政の健全化に向けて一生懸命に取り組んでいるところでもございます。ご協力のほど。

○3番（河野道雄君） これ以上、上下しないように、できるだけ落ちついた数字にしてほしいなと思います。

それともう一点、さっきのコンサートの件なんですけど、これ美馬、那賀も加わってくるんですが、この費用はどういう配分ですか。もう勝浦が全部持つんですか、これは。

○教育委員会事務局長（坪井泰博君） 3市町、それぞれこういうふうに、同じように一般会計に予算計上いたしまして、それで事業執行していくという形です。ですから、今回これは勝浦町だけの事業計画でございます。

以上です。

○3番（河野道雄君） ほな、これ開くたびに3,000万円ぐらいの費用がかかるんですか。

○議長（大西一司君） 場所が何カ所もやけん、地域地域でやるけん。それぞれ。

○3番（河野道雄君） 勝浦だけじゃないんやね。そうですか、私の勘違いです。済いません。

○議長（大西一司君） よろしいですか、ほな。

○3番（河野道雄君） はい、ありがとうございます。

○議長（大西一司君） 5番国清議員。

○5番（国清一治君） ちょっと、二、三、お聞きしたいんですけども、1つは96ページの運動公園管理費、運動公園については再三一般質問して、トイレも水洗化

されましたし、北側の舗装も非常に難しいところを舗装していただいて、非常に使いやすくなっておりますが、ただ私が思うにはもっと利用できるように、教育委員会みずからがあんだけの財産、ただ管理するだけでは意味がないと思うので、このその他の収入見ても、これ多分5,000円の運動公園使用料だと思うんやけど、町外の人にも言われるんで、あんだけのステージがあって利用が少ない。それは、もうただ、教育委員会全くここを利用しませんかっていう、そういうことは全くしてないと思うんやけど、それはすべきだと思う。すべきだと。どうですか、そこらは。

○教育委員会事務局長（坪井泰博君） 議員さんご承知のように、町内の方が使用すれば無料であると。使用料につきましては、町外の方は使用料いただきますよっていう原則がございます。

それで、あと利用推進でございますけれども、ご指摘いただきましたように、もっと利用。確かに、利用していただく団体は利用していただいております。ほなけん、新たにそういった利用してくださる、周知を行え、どんな方法があるか、ちょっと今私思いつかないんですけれども、その辺また今後推進を図っていききたいなどは考えております。

以上です。

○5番（国清一治君） これは、もうできて20年ももつとなると思うんやけど、これはしていかなんだらただ管理費だけはめていってするんは、ちょっとぐあい悪いと思うんで、ハーレーの大会が運動公園で定着してますが、まああれは使用料取ってないと思うんですけれども、前にスカイカイトの大会を私が呼んだことがある、これは町外です。何でいいかというたら、あんだけの広いところで電線がない。全く。それと、吉野川河川と違って、もうビルとかが全く見えないから、自然のアウトドア、本来のアウトドアのスポーツができるっていうことで、これをどうして町はPRしていかんのなってそのときにも言われました。それと、パラもあっこはなってますし、K-F r i e n d sにも言ったんですが、本来スポーツはやっぱり屋外ですべき、するんがいいんじゃないかということで、運動公園もっとどんどん利用したらいい。最近、ちょっと大会等やっていますが、教育委員会みずからがもっとPRする姿勢を見せてほしいなと思います。

それともう一つ、借り上げ料と原材料費、これ150万円余り組んでますが、去年台

風がなかったので使わなかった点はそれでいいと思うんやけど、今までいっとったんはほとんど北側が舗装でないために、あそこの土砂が全部流れよったんですね。ほんで、僕は台風がもしあっても、こんだけ是要らんと思うし、もう一点だけ提言しておきたいと思いますが、あっこに何でゴミが入ってくるかっていうたら、星谷橋がつかりかけたときに、あの橋自体が用水になる。南のほうが高くて、北に向いて全部水が流れる。あっこは、大きな排水化するんですね。排水になる。北側が、一番低いんやけん、そのゴミが全部北側の通路に流れる。僕が求めとんは、あの北側の運動公園に入る入り口あたりで、縦の線をはめたらあっこで、災害時ですよ、橋が閉めたときに、消防団が閉めてますので、閉めたと同時にあそこに土のうとまでもいかんと、するだけでこれ何十万円のお金が出てきます。ゴミが入らないんで、そこからは。多分、1回大雨のときに見たらわかる。あれが、大きな大きな用水となって、みんなゴミが流れよん。もうそれが、橋が平行でないんでそうなってますので、そこらは現地を1回見といてほしいなと思います。

それと、さっき3番議員さんが教育長の報酬が適当かって言うたと思うんです。これ、町長の答弁も課長の答弁もちょっと違うと思うんは、何であないに高くなつるかというたら、前に課長経験者が特別職になったんが続いたんです。ある課長のときに、特別職になったけん課長よりも上に設定をしたん。給料を課長より高いところに設定したんです。それが、ずっと続いとんです。ほんで、今退職された方が教育長になった場合に、余りにも高いんでないかちゅう疑問が今出とん。ほんで、前に職員が上がったときは、もう途中で退職して上がりますので、この給料の保障をしとったんです。ほんで、あるときにぐっと報酬を上げた時期があったんです。あるときに。それが、残とんですよ。ほんで、今退職された方に教育委員会の業務がどれぐらい忙しいか私は知らんのですけれども、あれだけの報酬を出す必要は私はないと思いますので、今度人事で出てきた、誰が出てくるか私は知りませんが、やはりそういう経緯があったということで、退職者が今まで先生が続いたんですけれども、そういう方になるんだったら、これは報酬を見直さなったら、副町長さんと同じレベルの報酬は出すべきでないと思いますので、それは町長さんぜひそういう経過があったちゅうことは知っと思ってもらうて……。

○議長（大西一司君） 恐らく経過は十分知つとると思うんで、ちょっと答弁もらっ

たほうがええと思う。

○5番（国清一治君） ほな、今ので答弁どうでしょうか。

○議長（大西一司君） 町長の認識だけ。

○町長（中田丑五郎君） その点の経緯については、詳細に私は認識しておりませんが、初代の教育長さんのときのことは聞いたことがあります。具体的な背景とかいきさつとかあったんだろうと思いますけど、今議員さん説明していただいたような経緯があって、バランスの問題があって上げたというようなことで、過去ずっとそんな議論もしながら今日まで至ってるというのが、改正もなしに至ってるというのが現状だろうと思ってます。ご指摘いただいたようなことも、もう毎度同じような答弁かもわかりませんが、具体的に聞いてから対応もしていきたいなと思ってます。

○5番（国清一治君） そういう方が、人事で出てくる場合は、そういうことはぜひ検討してほしいなと思います。3番議員さんの疑問は、もう当然だと思いますので。

それと、コンサートのこともちょっと聞きたいんやけど、このチケット分大変と思います。私も、コンサートで1,000円のコンサート、改善センターで売ったんですけど、もう大変です。それと、これ見たら印刷製本代が35万円、チケット代を含めて。これ5万円ぐらいですね、チケット完売しても。ほんで、ここらを抑えて、例えば広報とか有線があるんですから、費用のかからないものを使って、この小学生の部分は下げたらどうですか。これ1,000円、1,500円でなかったらいかんという決まりはないんでしょう。どうでしょうか。

○教育委員会事務局長（坪井泰博君） この今のチケット代の金額につきましては、とりあえず要綱に沿った金額での申請を上げておりますので、そういう特別な、特別といいますか、事情を加味した入場料の設定というのは、これから県のほうの振興財団のほうと確認をいたしまして、どういうふうなことができるか、ちょっと確認をして検討をしていきたいというふうには考えます。貴重なご提言というふうに捉えたいなと思います。

以上です。

○5番（国清一治君） それと、この業務委託料が余りにも高過ぎると思うんですけども、これもできるだけ、例えば改善センターでやるんだったら……。

○議長（大西一司君） 中学校、体育館。

○5番（国清一治君） 体育館でやるん。

○議長（大西一司君） うん。

○5番（国清一治君） 294万円で体育館でやるん。

○議長（大西一司君） 体育館，前もそうやったな。

○5番（国清一治君） 改善センターは，使えんの。狭いんで。

（「ステージがない」の声あり）

ほな，わかりました。

いずれにしても，これ1,000万円の業務委託を，これ多分プロが入って，はっきり言うて教育委員会全く手つかずでもいけるのかなと思うやり方なんだと思うんですけども，できるだけ安く抑えるように，町費も出てますので，これほな要望だけにしておきます。

一旦終わります。

○議長（大西一司君） 8番井出さん。

○8番（井出美智子君） 98, 99ページの給食のことなんですが，消費税が導入されて材料費が全部上がってくるのが，多分子供たちの給食費にはね上がって保護者負担がどうなるのかが，ちょっと心配なんですが，その点はどうなっていますか。

○教育委員会事務局長（坪井泰博君） 去年の安倍首相が消費税の増税，具体的に発表しました。その辺から，そのあたりから私どもも議員さんご指摘のような検討をしまりました。それで，結論といたしまして，今回消費税を8%に上げるに当たっては，この給食費の値上げは行わない。小学校は300円，中学校は330円の現行の料金で据え置くと。そういう決定を町長協議のときにしております。ですから，今後につきましては，歳出のほうなんですけれども，栄養士さん等を初め，内部のほうで頑張ってください，その赤字幅を少しでも下げていくと。かといって，材料の質は落とせないと，このジレンマもあるんですけれども，当分は頑張っていきたいと考えております。

○8番（井出美智子君） さすが，子育て支援に重点を置いている……。

○議長（大西一司君） 要点だけお願いします，時間が。

○8番（井出美智子君） 8%の次，10%が控えておりますので，そのときにも同じような答弁がされることを期待して，今は終わります。

○議長（大西一司君） 山野さん、要点だけ明確に。

○7番（山野忠男君） 98ページの学校給食等業務委託料というやつ、これ100万円少々ですけども、水質検査について、今横瀬中学校と生比奈と、当然簡易水道の水を使っていると思うんです。毎回、定期的に滅菌室に薬剤投入されて、きれいな水が飲めよと思うんやけど、その上でどういうふうな水質検査をしょんか、お聞かせいただきたいと思います。

○教育委員会事務局長（坪井泰博君） 951、13の775の部分ですね。

○7番（山野忠男君） そうです。

○教育委員会事務局長（坪井泰博君） 生比奈小学校及び給食センターの水っていうのは、簡易水道の水を使用しているわけではございません。自前の打ち込みの井戸を掘っております。それをポンプアップして使用しております。ですから、当然自分で月例検査をしながら、また全項目検査とか、さまざまな簡易水道が行っているような検査を自前でやっております。そういった関係で、水質検査料が発生しております。

以上です。

○7番（山野忠男君） ということは、専門家がやっぱり来よんやね。回ってきよんやね。

○教育委員会事務局長（坪井泰博君） そういった専門の業者がございまして、こちらにお願いをしております。

○7番（山野忠男君） はい、了解です。

それともう一点、その下の一番下の備品購入費、これは真空冷却装置ということなんですけども、これ一般家庭用の真空のような、いわゆる生ものでも保存できるというような大きな大型の装置があるんですか。

○教育委員会事務局長（坪井泰博君） 済みません、ちょっと細かい説明になって恐縮なんですけど、学校給食っていうのは原則野菜は生では出しません。ですから、加熱処理をします。給食数も非常に多うございます。今現在、450食ぐらいたしかあったと思います。そこで、野菜を加熱処理した分を一気に10度以下まで下げます。なぜ、こんなことをするかっていうと、雑菌が繁殖しやすい危険な温度帯っていうんがあるらしいんです。20度から30度ぐらいの間、常温で放置して冷まそうとすると、その時間帯がごっつい長い時間おるようになりますので、その時間帯を少しでも短くしたい

という考えで、この真空冷却機っていうのを使います。ですから、加熱された野菜が10度以下になるまでには、量にもよりますが10分ぐらいで冷ますことが可能らしいんです。ですから、そういう意味で、そういうことでこの真空冷却機っていうのを現在も使っておるんですが、いかんせんちょっと古くなってきてまして、なかなか10度まで下がらんと、そういった事情がございまして、今回新たに購入をしたいということでございます。

○7番（山野忠男君） わかりました。

私、勘違いしております、家庭だったら一応刺身を切っても冷凍しなくても長時間保存できるんです。この冷却装置ちゅうんはね。だから、給食にもそういった生ものを使うのかなと思うたんやけど、野菜もんのいわゆる長期保存ちゅうことやね。わかりました、済いません。

○議長（大西一司君） ほかにございませんか。

1番美馬さん。

○1番（美馬友子君） 済いません、3点お願いします。

1つは、伺いたい。中学校の体育館に移動の際に、前にスリッパを履きかえな体育館に入れん、そんな不便なことでまた工事を検討しとくって言うた分は、検討されたんですか。

○教育委員会事務局長（坪井泰博君） 校舎から体育館との行き来のところですね、通路ですね。

あれは、経過を申しますと、そもそも校舎から体育館へ移動するのは土足で移動するっていうのが、そういう考え方で設計をしております。ですから、スリッパで体育館へ移動するっていうんは、考え方がなかったんですけども、今回どうも学校側とも話聞いてみましたら、そういった事例が時々あるように伺っておりますけれども、原則はもう土足で体育館のほうに行って、あちらで靴を脱いでスリッパに履きかえてくださいっていうことは、学校のほうには申し入れはしております。今のところ、そういうようなことです。

○1番（美馬友子君） 雨で靴がすごくぬれたことがあったけん、どんなかなあと。思うて。ちょうど、通路にといの水が流れてくるんです。

○議長（大西一司君） とい言いよったの、前。直したんかいな、とい。

(「いや、まだ」の声あり)

まだ。早う直して。

○教育委員会事務局長（坪井泰博君） 設計上、そういう排水がああいうブロックってことなので、溝ってというのが仕切っていないんですね。ほなけん、想定以上の雨が降れば、あふれてくるっていうところかなとは思いますが、ちょっとその辺まだ勉強不足です。

○1番（美馬友子君） ほな、雨のときに見てみて検討してほしいと思います。

それと、中学校の土手側なんですけど、8時までで消灯切れるんですよ。ほいで、あっこ散歩、皆さんウォーキング夜もされよんですが、キンキサインまでの距離が長いんで、1本ぐらいい残してほしいなって、そういう部分は可能なんですか。半分ぐらいい減すんですよ、省エネのために。

○教育委員会事務局長（坪井泰博君） 改築当時は、お披露目も考えまして照明いっぱいつけてました。明る過ぎるという話もございまして、おっしゃられたように照明を減らしました。ちょっと済みません、研究させてください。散歩するのに●

●。

○1番（美馬友子君） 暗いんです。ほんで、先生も8時以降に帰るときは、車のとこまで行くのに。

○教育委員会事務局長（坪井泰博君） 具体的に言うたら、駐車場のほうが、それとも。

○1番（美馬友子君） 自転車置きよる● ●。

○議長（大西一司君） よう検討、協議しといてください。

○1番（美馬友子君） それと、コンサートのことになるんですが、ホームページをあけてみると、まだコンサートのチケットの返金するっていうのがずっと残ってるけん、また今度コンサートしたら、またそれちょっとなかなか皆さん迷うと思うんで、それは削除してほしいなって思います。

それと、売電どんなんかなっていう。ここに、予算は載ってましたけど、ちょっと説明をお願いします。

○教育委員会事務局長（坪井泰博君） 売電収入ということですので、まず横瀬小学校ですけども、売電料金が25年度、今年度ですね。まだあと2月分、3月分と2カ

月分残っとなですけれども、これもある程度予想をして、予定では多分4万3,000円ぐらい売電ができるのかなと。4万3,000円分ぐらいの売り上げになるのかなと思います。それと、中学校も2月分、3月分と残っておるんですけれども、大体21万6,000円ぐらいの売り上げが出てくるのかなと考えられます。それで、この予算なんですけれども、中学校は21万円というふうに設定をいたしております。それと、横瀬小学校につきましては、4万2,000円に設定をして、合計25万2,000円の歳入の計上をいたしております。

以上です。

○1番（美馬友子君） ワット数の差って、小学校と中学校どんだけ。

○教育委員会事務局長（坪井泰博君） 小学校が10キロワットだったですね。ほんで、中学校が30キロワット。

○議長（大西一司君） よろしい。

○1番（美馬友子君） はい。

○議長（大西一司君） ほかに、ございませんね。

（「なし」の声あり）

○議長（大西一司君） ないようでございますので、小休をいたします。

午前11時16分 休憩

午前11時33分 再開

○議長（大西一司君） 再開します。

議案第20号について、何かご質問ございませんか。

5番国清議員。

○5番（国清一治君） ちょっと聞きますが、これ公用車の管理も入っとなかいな。

○会計管理者（豊岡和久君） はい。

○5番（国清一治君） 今、何台。最近、大分車買うとるようなけんど。

○会計管理者（豊岡和久君） 濟いません、覚えてないです。

○議長（大西一司君） 公用車の台数。

○5番（国清一治君） 財産管理に入っとなかな。

○会計管理者（豊岡和久君） 公用車につきましては、出納室で管理しているものが4台ありまして、4台のうちの燃料費と、今回車検ないんですけど、燃料費とリース

料を出納のほうで構えてございます。

○5番（国清一治君） 4台だけで、後は総務課が管理しとん。

○会計管理者（豊岡和久君） 後の分については、各課それぞれ課で管理されておりますので、それぞれ5台と思います。

○5番（国清一治君） ● ●。

燃料費とかというんでなしに、何ぞ● ●。

○会計管理者（豊岡和久君） 財産については、各公用車についての全てのさっき言った保険と、建物とか公用車の保険については、出納のほうでしておりますから、それぞれの使用、公用車の使用に関する管理については、それぞれの事業の目的に応じたところで予算措置をしているところでございます。

○議長（大西一司君） 4番 笹議員。

○4番（笹 公一君） 小さな金額なんですけど、臨時の人で3カ月間って言いよったね。36万円。これって、どんな仕事をするん。毎年、これってしよんですか。それとも26年度だけのことなんですか。仕事の内容と● ●。

○会計管理者（豊岡和久君） 出納室におきましては、出納閉鎖期間が4月1日から入りまして、その間新年度と旧年度と両方処理をするようになっています。ほんで、1年間の業務について決算をその後上げるようになるんですけども、その間3カ月におきましては事務量がふえるので、3カ月間は雇用している形になっております。

○4番（笹 公一君） それは、まあ言うたら書類の整理みたいなん。それとも、計算したりするん。例えば、入力するとか、どんな仕事の内容。

○会計管理者（豊岡和久君） 主として、伝票の計算が主なもんで、計算の手助けと書類の整えですね。1年間の簿冊を整える作業をしていただいております。

○4番（笹 公一君） その都度その人って雇いよるん。それとも、ある程度経験のある人を来てもらいよんですか。

○会計管理者（豊岡和久君） ここは、これについてはある程度の作業要領、こちらのほうが指導することによって可能なので、特に特殊な技術を必要とするものではないですけども、経験者のほうが処理がスムーズに行くと思われるので、そういう形で雇用しているところでございます。

○4番（笹 公一君） 経験者の人が3カ月だけって言うたら、快よう来てくれる

ん。例えば普通だったら6カ月とか、1年とかにせなんだら、なかなかその人のいろいろなこともあると思うんやけど、その3カ月だけということに来てくれるというか、例えばシルバーとかではないんでしょう、これは。

○会計管理者（豊岡和久君） シルバーではございません。ほんで、作業については軽微な計算的な範囲と、簡易な作業なので、十分短期間でも可能と思われております。

○議長（大西一司君） ほかにございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（大西一司君） なければ、これで会計管理者、出納のほうは終わりたいと思います。

小休します。

午前11時38分 休憩

午前11時40分 再開

○議長（大西一司君） 再開します。

議会のほうを、内輪の話なんですけど、何かご質問ございませんか。

監査のことなんですけど、実はこの前県の定期総会、町村議会議長会定期総会で、ちょうど那賀町の監査委員さんが全国の会長さんをなさってます。その方からのご要望がありまして、全国平均見ても議会からの選出じゃないんですよ、代表監査委員さんです。非常に、仕事の割に低いんで、見直してくれというようなご要望がありましたんで、これまた来月、再来月かいな9日にもう一遍見直しの協議をする場を設けてございますので、またそのときに報告はしたいと思うんですけど、難しい面もあるんですけど、それぞれの町によって事情も違うし、我が町はどうなんかってやつもちょっとまた直接監査委員さんに聞いて、反映したいと思います。報告ですが。

○10番（川端雅夫君） 報酬審議会の中で、議員の歳費っていうか報酬がどういふふうに審議されよんだらうか。ということは、我々もうこれ前から19万9,000円を4,000円下げただけでこれまでずうっと行きよんじゃけんど、将来のこのことを考えたら、今議員になる人がないんよな。何してかって言うたら生活できんの。ただ、そういうことを考えてみたら、議員の引退された人も報酬審議会の一人でも加わっとんでないん。どんなんですか。

○町長（中田丑五郎君） 報酬審議会のメンバーさん6名のうち、議員のOBさんはいなかったと思うんですよ、ことし。特別職の報酬審議会は、その都度その都度任命していきますので、1年間とか2年間の固定されたもので、もうその議案があるときに委員さんになっていただくというような仕掛けになってます。

○議長（大西一司君） 婦人会とか青年会代表も入ったな、前は。

○会計管理者（豊岡和久君） 婦人会の人も入ってますし、商工会も入ってますし、6名の方で構成してます。

○10番（川端雅夫君） 結局、下げても高いって言われるしな、下げたけんほらようやったというんでないんよな。人数下げても皆何でもないんよな。麻痺しとんよ、もう。報酬と人数下げてもな、18人が今10人なとんで。当たり前じゃというような、私ら見たら感覚あるんよな。私も、今から上げてくれとかほんなんは言わんのやけんど、将来のために実際にある程度でよ、ある程度の収入がなかったら、なかなか若い人なるちゅうんは、ほんまにめんどいと思う。ほんな報酬審議会に出よる人は、どんな考え方があるんかいなと。もし、議員の引退された人がもし入ったたら、やっぱりほういうような声をその人からでも出してほしいなと、私はそう思うんじゃけどな。19万5,000円が、ほんまに適当なんかと。確かに、同じ自治体の大きさがあって、葉山町やったら徳島市議会ぐらいあるけんな。ほれはほれで、またあそこの財政状況から考えたら、それはもう適当かもわからんのやけんど。うちの16町村では、大体似るとは言うんじゃけんど、それではないと思うんよな。平均が、大体19万円から20万円、石井がちょっと多いんかな。ほなけんど、実際に20万円もろうても生活できる状態ではないけんな。ほうでなかったら、若い人が、結局会社60で定年なった人がやっぱりなるような時代になってくるもんな。若い活気のあるような人が、なかなかしてくれるような今状態ではないわな。町長に文句言うんではないんですよ、これは。だけど、ほんまに……。

（町長中田丑五郎君「私に言われても困る」の声あり）

そら町長に言うたって、何もないんじゃけどな。ほんまに、報酬審議会で当たってる人が、ほんまに将来のことを考えてくれよんかなと思うたら、苦言を呈したいとは思いますが。それ以上言うたって、これね。終わります。

○議長（大西一司君） 山野さん、何かあるん。

○7番（山野忠男君） 以前，筆耕が来よったんやけど，その後どうなってますか。
今現状は。一般質問の筆耕ずっと送ってくれよったでしょう，昔は。今は，テープだけ
けいで。

（「いや」「来よるで」の声あり）

いや，来よらへん。私や最近……。

○議長（大西一司君） それ，意見ほな後で言うて。多分……。

○7番（山野忠男君） 最近，見ません。いつもテープだけいで，それをもと
にあれしよんやけど，作文を。

（「● ●」の声あり）

もちろん，そらそうだろ。● ●ですか。何日ごろ来よんですか。

○議会事務局長（前田晃司君） 一週間後。

○7番（山野忠男君） 一週間後，ほなもう提出同時の日ぐらいに。

（「山野さんが早いけん，早いに出してくれるのはええけ
んど」の声あり）

ほんま。

（「なし」の声あり）

○議長（大西一司君） ないようでございます。

以上で議会事務局関係の総括質疑も終わります。

以上で本日の日程は全て終了いたしました。

本日はこれにて散会します。

お疲れでございました。

午前11時50分 散会